



(題字は初代学長 山田守英氏)

# 第 169 号

平成 30 年 1 月 31 日

編集 旭川医科大学  
発行 教務部学生支援課



「静寂」

(写真撮影: 医学科第 4 学年 今石 和紀)

教授就任のご挨拶…… 内科学講座 病態代謝内科学分野 太田 嗣人…… 2	合唱部クリスマスコンサート ……………16
平成29年度外国人留学生交流事業が実施されました… 4	感謝の集い ……………17
第64回北海道地区大学体育大会 結果報告…………… 6	平成30年度前期授業料免除の申請について ……………18
大学の森みどりの保育園で「ぬいぐるみ病院」を実施 … 8	平成30年度日本学生支援機構奨学生の募集について……19
平成29年度解剖体慰霊式を執り行いました …………… 9	安否確認システムによる訓練を実施しました ……………19
学生表彰式 ……………10	事故防止について ……………20
AMU DANCE CRANK自主公演 ……………13	大学構内における駐車について ……………21
ギター部&ジャズ研究会合同クリスマスコンサート…14	教員の異動 ……………22
室内合奏団クリスマスコンサート ……………15	今後のスケジュール ……………22
	第169号表紙……………22



## 教授就任のご挨拶

旭川医科大学内科学講座

病態代謝内科学分野

平成9年金沢大学医学部卒業

教授 太田 嗣 人

平成29年9月1日付けで、旭川医科大学内科学講座 病態代謝内科学分野（第二内科）第四代教授を拝命致しました、太田嗣人でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、平成9年に金沢大学医学部を卒業し、故・小林健一教授（肝臓・消化器病学）が主催する第一内科に入局しました。これまで、金子周一教授（肝臓・消化器病学）、篁俊成教授（糖尿病・内分泌学）のご指導のもと、糖尿病・内分泌に関する研究、臨床に従事して参りました。金沢に生まれ育った私は、コロンビア大学（ニューヨーク）での3年間の留学を除き、内科医として17年、金沢大学病院と北陸の関連病院で研鑽を積んで参りました。

出身教室の金沢大学第一内科は、糖尿病・内分泌、肝臓・消化器、腎臓・膠原病、循環器の4つの診療科からなる大内科講座で、私自身、各専門科や研究室が切磋琢磨しつつ、連携を大切にする環境に育まれてきました。全身を診ること、その上で専門性を持つことの2つの基本を徹底し教えられてきました。この内科学の原点に立ち返り、第二内科では、糖尿病、内分泌、膠原病、肝胆膵の診療科から成る教室の伝統を守り、各専門科や他の講座とのバランスと連携を重んじた診療、

研究、人材育成を基本と致します。

旭川医大は、革新的かつ柔軟性に富む入試制度を積極的に取り入れ、卒業生の多くが初期研修医として残る、魅力あふれる医科大学といえます。実際、大学病院として、北大、札医に比して高い初期臨床研修マッチングを得ています。新専門医制度や臨床実習新制度を目前に控えた今、この強みを活かし、旭川「愛」にあふれる研修医を、常に最新の知識と技術を学び、トータルに患者を診る「良医」として育成し、地域に根付いた、患者に優しい診療科を目指します。医療過疎化、医療格差を解消し、患者がどこに住んでいても高度医療を安定して受けられる体制を強化できるチャンスとむしろ捉えています。

研究面では、これまでの地道な努力により、少しずつですが、「糖尿病と肝臓」の研究で名を知られるようになったと自負しております。インスリン抵抗性は脂肪性肝炎（NASH）の成因の中心にあることをいち早く証明し、小胞体ストレスがリポ蛋白代謝を制御し、脂質異常症や脂肪肝の発症に関わることを明らかにしてきました。最近では、肥満症・糖尿病・脂肪肝への微量栄養素の有効性に関する橋渡し研究を推進しています。

専門である代謝・内分泌領域の臨床は、増

加の著しい糖尿病、生活習慣病の予防や治療において、地域社会と医療が一体となり取り組むべき課題が多く残されています。私は、旭川医大が中心となり、北海道の糖尿病・内分泌の臨床、研究をリードしていく所存です。複数診療科からなる教室の強みを生かし、多角的な観点から、領域横断的かつ融合的な基礎・臨床研究の発展に努め、一連の研究のさらなる開花を目指します。若い医師や研修医、大学院生には、些細なつまらない研究成果や症例報告と思っても、コツコツ学会発表をこなし、原著論文として仕上げ、研究費を獲得し、日々前進していくことの大切さを伝えて参ります。

旭川医大における第二内科の伝統と特性を鑑み、異なる視点を持った臨床医の気づき

や、日常臨床で感じる切実な疑問をもとに新しい研究シーズを見つけ、Clinician Scientistの育成に努めます。「環境が人を大きく成長させる」と信じ、国内外の連携施設との共同研究や留学等の人的交流を積極的に行い、旭川から世界をリードする人材を育成致します。若く希望にあふれた人材に広く門戸を開き、医局員の夢と適性を最大限尊重し、個々の能力が最も伸びる教育、進路選択を行うことが、教室の未来につながると信じています。

道北、北海道の医療を支える内科学教室の教授職に任ぜられ、その重責を果たすべく、全力を尽くします。教室員共々、何卒、宜しくお願い申し上げます。

## 平成29年度 外国人留学生交流事業が実施されました

平成29年度の外国人留学生交流事業が、8月18日（金）・19日（土）の2日間の日程で、本学に留学している学生とその家族及び関係職員の3カ国、計6名が参加して実施されました。

この事業は旭川市内近郊だけではなく、北海道内の名所を外国人留学生及び帯同されている家族の方々に観てもらい、北海道の良さを再認識してもらうこととともに、様々な国から来日されている留学生同士の交流及び外国人留学生と職員との交流を図ることを目的としたものです。

当日は午前9時に旭川を出発し、小樽運河沿いのホテルノルド小樽で昼食を取った後、赤井川村の落合ダム湖でダッキーを行いました。この日は、風もなく穏やかな湖面で、北海道の大自然を感じながら、リラックスした

時間を過ごすことが出来ました。

その後、宿泊先のシェラトン北海道キロロリゾートに移動し、ショッピングや入浴を楽しみました。夕食の後、交流会が実施され、普段は話をする機会の少ない留学生と教職員とも、とても和やかな雰囲気の中で情報・意見交換が行われました。

翌日は、午前中におたる水族館に移動し、イルカショーや館内展示を楽しみました。今回参加した留学生の中には、内陸部の出身者ということで水族館を見たことがない学生がおり、とても満足していたようでした。その後、グランドパーク小樽で昼食を取り、砂川PAでの休憩をはさみ、午後4時に本学に到着し、外国人留学生交流事業が無事終了しました。





## 第64回北海道地区大学体育大会 結果報告

第64回（平成29年度）北海道地区大学体育大会は北海道大学が当番校となり、7月1日（土）から7月23日（日）までの間に開催され、期間中旭川市をはじめ札幌市、小樽市、岩見沢市、室蘭市、帯広市及び留辺蘂町の10会場において競技が行われました。参加チーム数が規定数に達しなかった、柔道と剣道女子は、残念ながら中止となりましたが、その他の10種については、17大学から参加した約1,600人の学生らにより熱戦が繰り広げられました。

旭川では、最高気温が33.6℃まで上がった猛暑の中、7月15日（土）から3日間、旭川市総合体育館においてバスケットボール大会

が開催されました。昨年度に引き続き、本学バスケットボール部員達が、それぞれ限られた時間の中で手際良く準備を行い、自分達も試合に出場しながらもスムーズな大会運営をしてくれました。皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。残念ながら、男女ともに2回戦で敗退となりましたが、試合では大きな声を出しながら、強気な姿勢で攻め続けた姿が印象的でした。

なお、来年度も本学はバスケットボール大会を運営する予定ですので、引き続き皆様のご協力・ご声援をよろしくお願いいたします。

第64回(平成29年度)北海道地区大学体育大会 種目別上位成績表

	男 子			女 子		
	優勝	準優勝	第3位	優勝	準優勝	第3位
総 合 成 績	小樽商大	旭川医科大	北海道大	北海道大	北教大旭川	帯広畜産大
陸 上 競 技	北海道大	室蘭工業大	小樽商大	北海道大	旭川医科大	帯広畜産大
硬 式 野 球	北海道大	小樽商大	北教大岩見沢 苫小牧駒澤大	/	/	/
準硬式野球	旭川医科大	札幌医科大	室蘭工業大 小樽商大	/	/	/
バスケットボール	北教大旭川	北教大札幌	室蘭工業大 小樽商大	拓殖短大	北教大札幌	北海道大 札幌医科大
バレーボール	旭川医科大	小樽商大	北教大札幌 北教大函館	北教大旭川	名寄市立大	北教大釧路 旭川医科大
サ ッ カ ー	北教大岩見沢	北教大函館	北教大旭川 釧路公立大	/	/	/
バドミントン	北教大旭川	北海道大	旭川医科大 釧路公立大	北教大旭川	北海道大	北教大函館 北教大岩見沢
剣 道	小樽商大	札幌医科大	釧路公立大	/	/	/
弓 道	北海道大	北見工業大	帯広畜産大	帯広畜産大	北海道大	北大水産
ハンドボール	小樽商大	札幌医科大	室蘭工業大	/	/	/



## 大学の森みどりの保育園で「ぬいぐるみ病院」を実施

7月20日（木）に「旭川医科大学大学の森みどりの保育園」において旭川医大IFMSAの学生達による「ぬいぐるみ病院」が行われました。最初に園児たちとゲームやクイズをしながらコミュニケーションをとり、その後、ぬいぐるみを患者さんに見立てた「病院ごっこ」に移ります。保護者役の園児たちは、ぬいぐるみに付き添い、名前や年齢、どこが具合悪いか、など医師・看護師役の学生に伝え、検査や治療をしてもらいます。「熱

がある」という症状には、「体温を測ってみましょう。」「お薬を飲ませてあげてくださいね」といったやりとりが行われます。ゆっくりとした口調で丁寧に説明してくれる学生に、園児たちは興味津々で診療を受け楽しく学んでいる姿が印象的でした。

旭川医大IFMSAでは、このような活動を通じて、医療行為に対する子どもの理解を深めることで、病院に抱きがちな不安感を和らげる手助けを行っています。





## 平成29年度解剖体慰霊式を執り行いました

9月20日（水）午後1時30分から本学体育館において、御遺族と御来賓及び教職員・学生合せて約290名が参列し、平成29年度旭川医科大学解剖体慰霊式を執り行いました。

慰霊式においては、本学学生等の教育及び学術研究用に尊いご遺体を提供され、医学発展の礎石となられた方々の計335霊の御霊に対して、ご冥福をお祈りするために黙とうが捧げられ、引き続き吉田学長から追悼の辞が述べられました。

また、学生代表の医学科第3学年山縣二美可さんによる追悼の辞では、『尊い命を懸けてご教授くださった命の尊厳さ、御献体くださった故人とご遺族の皆様はその崇高な思いを胸に刻み、皆様のご期待に応えられる医療者となるため、私たちは日々精進し続ける』と誓いました。

最後に、御遺族と御来賓の方々並びに教職員、学生の代表からの献花が捧げられ、亡くなられた方々の御遺徳を偲びご冥福を祈念しました。



### 追悼の辞

学 長 吉 田 晃 敏  
学生代表 医学科3年 山縣 二美可

### 献 花

学 長 吉 田 晃 敏  
学生代表 医学科3年 山縣 二美可  
看護学科2年 西田 直生  
看護学科2年 小島 さやか



## 学生表彰式

平成29年10月31日（火）午後12時10分から、本学第一会議室において、課外活動又は学術研究活動で特に顕著な成果をあげた学生及び学生団体に対する学生表彰が行われました。

表彰式は、役員及び顧問教員の列席のもと、吉田学長から4団体、個人6名に対し表彰状の授与と記念品の贈呈が行われ、被表彰者の栄誉を称えるとともに、更なる活躍のための激励の言葉が贈られました。受賞者の一覧は以下のとおりです。

==課外活動による表彰==

団体名・氏名	大会等名	成績
準硬式野球部	第60回東日本医科学生総合体育大会	優勝 (2連覇)
男子ハンドボール部	第60回東日本医科学生総合体育大会	優勝
バドミントン部男子	第60回東日本医科学生総合体育大会	優勝 (6連覇)
ソフトテニス部女子	第60回東日本医科学生総合体育大会	優勝
	第51回全日本医科学生総合体育大会	第3位
医学科第5学年 澁谷 匠 (陸上競技部)	第60回東日本医科学生総合体育大会 男子円盤投	優勝
医学科第5学年 高村 貴子 (競技スキー部)	第59回東日本医科学生総合体育大会 スキー競技女子クロスカントリー3km	優勝
	第59回東日本医科学生総合体育大会 スキー競技女子クロスカントリー5km	準優勝
	第59回東日本医科学生総合体育大会 スキー競技女子クロスカントリー1.2km スプリント	準優勝
	世界シリーズ戦 スカイレース・コマペドローサ 2017	第3位
	蔵王スカイソング 2017 ZA0 スカイレース女子総合	第1位
医学科第6学年 飯田 敏史 (柔道部)	第60回東日本医科学生総合体育大会 男子中軽量級	優勝
医学科第2学年 菊屋 慶一朗 (柔道部)	第60回東日本医科学生総合体育大会 男子軽量級	準優勝
医学科第3学年 半井 龍	K-1 カレッジ 65kg級	準優勝

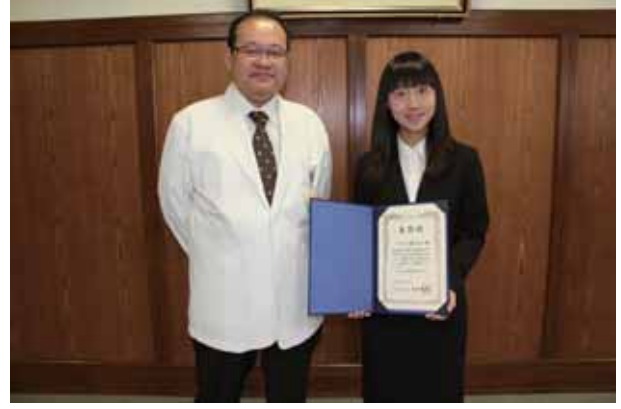
==学術研究活動による表彰==

氏名	功績
医学科第4学年 西村 涼	病理学講座腫瘍病理分野において間質性肺炎の剖検例を検討してきた結果、肺組織内に IgG4 陽性形質細胞が浸潤していることを発見し、診断に大きく貢献した。その研究成果を日本病理学会総会（東京）学部学生示説において『IgG4 陽性形質細胞の浸潤を伴う非対称性間質性肺炎の1例』のタイトルで発表し「日本病理学会総会最優秀賞」を授与された。なお、現在はこの成果を英語論文にまとめようと努力を続けている。



●団体受賞者（課外活動）

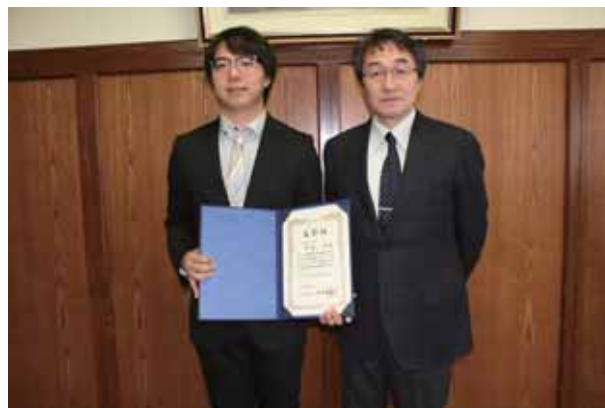




●個人受賞者（課外活動）



●個人受賞者（学術研究活動）



## AMU DANCE CRANK 自主公演

10月21日（土）旭川市公会堂において『CRANK自主公演～Beyond～』が開催されました。本公演のタイトル“Beyond”には「枠を越えて」という意味があります。ダンスのジャンルや大学・学年の枠を越えて観客の心に響くダンスを創り出したいという想いから生まれた記念すべき公演です。

第1部はShowcaseになっていて開幕から会場は大盛り上がり！旭川教育大学、名寄市立大学、旭川東高等学校の学生・生徒もゲス

トとして出演し、共に会場を盛り上げてくれました。第2部はストーリー仕立てになっていて、映像演出や構成にも創意工夫をこらし観客の心をしっかり掴んでいました。最後は全出演者がステージで踊り、盛大な拍手のなか幕を下ろしました。

昨年、初めての自主公演を成功させたCRANKはまた一歩成長した姿を見せてくれました。今後もCRANKの活躍を期待しています。



## ギター部&ジャズ研究会 合同クリスマスコンサート

12月2日（土）13時からギター部とジャズ研究会による合同クリスマスコンサートが病院ロビーで開催されました。この日は、合同コンサートということもあり、多くの入院患者さんやお見舞い客、そして沢山の学生が集まりました。ギター部は、冬のラブソングとして有名な「ロマンスの神様」や映画「戦場のメリークリスマス」のテーマ曲となった坂本龍一作曲の「メリークリスマス ミスター

ローレンス」などを演奏、ジャズ研究会は、誰もが一度は耳にしたことがあるデイヴ・ブルーベック・カルテットの名曲「TAKE FIVE」や日本を代表するフュージョンバンドTHE SQUAREの「宝島」などを披露しました。最後は、ギター部とジャズ研究会の学生たちが合同で、「すてきなホリデイ」や「ジングルベル」などを演奏し、会場全体がクリスマスの楽しい雰囲気に包まれました。



## 室内合奏団クリスマスコンサート

室内合奏団のクリスマスコンサートが、12月3日(日)14時から病院玄関ロビーにおいて開催されました。クリスマスソングでお馴染みの「サンタが街にやってくる」や、宮崎駿のアニメ映画『天空の城ラピュタ』のエンディングテーマ曲でもある「君をのせて」、チャイコ

フスキー作曲のくるみ割り人形より「花のワルツ」等の演奏が行われました。また曲の合間には、サンタやトナカイに扮した学生たちが、来聴者一人一人にクリスマスプレゼントを手渡し、患者さんをはじめ多くの方々が一足早いクリスマス気分を味わいました。



## 合唱部クリスマスコンサート

合唱部のクリスマスコンサートが、12月17日（日）13時30分から病院玄関ロビーにおいて開催されました。ディズニーソングの中でも人気の高い「美女と野獣」のテーマ曲から始まり、OB・OGステージでは本学卒業生と在校生と一緒に「群青」を合唱、そして、学

生たちはディズニーのキャラクターやサンタクロースの衣装で、楽しいダンスを披露しました。学業やアルバイトの合間に練習を積み重ねてきた学生たちは、コンサートで素晴らしい歌声を披露し、来聴者から大きな拍手が送られました。







## 旭川医科大学基金「感謝の集い」を開催しました

平成29年11月14日に旭川医科大学基金の寄附者の皆様をお招きした「感謝の集い」を旭川医科大学病院内のレストランなかまどを会場として開催しました。

平成28年10月の旭川医科大学基金創設後、初めての開催となる「感謝の集い」には、寄附者の皆様とご同伴者様を併せ29名の方々にご参加をいただき、本学からは吉田学長を始め、理事、副学長などの大学役員員の他、基金の支援を受けた学生・留学生も参加しました。

はじめに貢献会員・特別貢献会員の皆様へ感謝状を贈呈いたしました。また、吉田学長からグローバルに活躍できる医療者の養成などの、教育・研究等に全般に関する講演の後、原渕学長補佐から寄附金の活用および収支状況等についての報告を行いました。

平田病院長による乾杯で幕を開けた寄附者の皆様との歓談時間には、支援を受けた学生・留学生から活動成果報告が行われ、日ごろのご支援に対する感謝の気持ちをお伝えすることができました。最後に、原渕学長補佐に閉会の挨拶の後、盛会のうちに終了いたしました。



貢献会員・特別貢献会員の皆様と本学役職員

旭川医科大学基金ホームページ

URL (<https://www.asahikawa-med.ac.jp/index.php?f=guide+funds>)

旭川医科大学基金 検索



# 平成30年度授業料免除の申請について

本学では、授業料の納入が困難な学生に対して、選考のうえで授業料の全額もしくは半額を免除する制度を設けています。以下の基準のいずれかに該当すると思われる学生で、授業料免除を希望する場合は、次のとおり申請手続きを行ってください。

## 1. 授業料免除基準

(1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合。

なお、平成30年度において原級に留め置かれている者、又は最短修業年限を超えて在学している者は、免除の対象とはなりません（病気・留学により休学した者は除きます。）。

### ◎学業優秀と判断する基準

学部第1学年及び編入学生の当該年度の取扱いは入学を以って学力基準を満たしているとする。

学部第2学年以上の学生については、進級を以って学力基準を満たしているとする。

### ◎修業年限の取扱い

医学科 6年（第2年次編入学生は5年、ただし平成27年度以前の編入学生は4年6か月）

看護学科 4年（第3年次編入学生は2年）

修士課程 2年

博士課程 4年（長期履修を認められている者についてはそれぞれの修業年限）

(2) 授業料納期前6か月以内において、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合。

(3) (2)に準じる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合。

※授業料滞納者の授業料免除申請は受理しません。

## 2. 配付期間

平成30年2月19日（月）～4月13日（金）17時15分まで（土日祝日を除く。）

## 3. 申請期間

①平成30年2月19日（月）～4月27日（金）17時15分まで（土日祝日を除く。）

②平成30年6月1日（金）～6月27日（水）17時15分まで（土日祝日を除く。）

※①と②の期間で提出する書類が違います。それぞれの期間に適切な書類を提出しなければ授業料免除申請は認められませんので、ご注意ください。詳細につきましては、配付書類をご参照ください。

## 4. 配付場所・申請書類提出場所

学生支援課学生総務係

## 平成30年度日本学生支援機構奨学生の募集について

日本学生支援機構は、優秀な学生でかつ経済的な理由で就学困難な者に学資を貸与しています。

本学では、日本学生支援機構からの推薦依頼に基づき、出願者の種々の条件を考慮して選考を行い、日本学生支援機構へ推薦します。ただし、奨学金貸与の種別ごとに推薦基準が定められており、その資格があっても採用枠の関係で推薦できない場合があります。

平成30年度の募集説明は、4月16日（月）午後5時から看護学科大講義室において実施する予定ですので、希望者は必ず出席してください。なお、募集の時期以外に家計の急変により、学資の支弁に困難な事情が生じた場合は、学生支援課学生総務係に相談してください。

## 安否確認システムによる訓練を実施しました

「津波防災の日(11月5日)」を中心とした期間に、安否確認システムを導入している道内の国立大学と合同で、学生・教職員を対象に「安否確認システム」による訓練を実施しました。本学では、危機管理体制の強化を図ることを目的として、地震等の発生又は災害による大規模な被害が予想される場合に、学生及び教職員の安否状況を迅速に把握し、災害時の安全確認を速やかに行うための一手段として、平成26年度から安否確認システムを導入しています。

今回の訓練は、安否確認システムに登録してあるメールアドレスに訓練用の安否確認メールが配信され、回答用のURLをクリックし、Webから安否状況を回答してもらうというものです。

実際に災害が起こった場合には、皆さんから送信された安否状況の回答は、大学に送信されると共に、登録してある保護者アドレスにも送信されます。まだ登録が済んでいない場合には、速やかに登録するようにしてください。

また、保護者の方につきましても、携帯の迷惑メール対策で指定受信設定をされている際は、@anpi.mailds.jp及び@asahikawa-med.ac.jpのドメイン指定受信設定をされるようお願いいたします。

安否確認システムの詳細は、

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/local/anpi/> をご参照ください。

# 事故防止について

冬は天候が変わりやすく道路状況や周辺環境が一気に変化します。帰省や移動の際は交通事故に注意し、冬山に立ち入る場合には、事故に巻き込まれないよう、事前の情報収集を行うことが必要です。また飲酒等では法律を守り、他人に迷惑を掛けない範囲で楽しむようにしてください。本学の学生である自覚を持ち、以下のことに注意して、充実した学生生活を過ごしてください

## 1. 交通事故について

冬道の運転は、凍結路面やわだちでのスリップ等、危険がいっぱいです。運転する際は、自身の運転技術を過信せず、時間等に十分余裕をもって安全運転を心がけましょう。また、体調不良時の運転や、他人の自動車への安易な同乗は避けるなど、事故を起こさない、事故に遭わない対策を講じてください。

## 2. 飲酒運転の禁止

飲酒運転は悪質な犯罪であるとの認識をしっかりと持ち、二日酔い運転を含めた飲酒運転の根絶を図りましょう。飲酒した人の車に同乗したり、車を運転する可能性がある人への酒類の提供や車の提供も犯罪となります。

## 3. イッキ飲み・アルハラ禁止

未成年の飲酒やイッキ飲みの強要、意図的な酔いつぶしは、非常に危険な行為であることを認識し、絶対に行わないでください。

～アルハラの定義5項目～（イッキ飲み防止連絡協議会のページより）

### ① 飲酒の強要

上下関係・部の伝統・集団によるはやしたて・罰ゲームなどといった形で心理的な圧力をかけ、飲まざるをえない状況に追い込むこと。

### ② イッキ飲ませ

場を盛り上げるために、イッキ飲みや早飲み競争などをさせること。

### ③ 意図的な酔いつぶし

酔いつぶすことを意図して、飲み会を行うことで、傷害行為にもあたる。ひどいケースでは吐くための袋やバケツ、「つぶれ部屋」を用意していることもある。

### ④ 飲めない人への配慮を欠くこと

本人の体質や意向を無視して飲酒をすすめる、宴会に酒類以外の飲み物を用意しない、飲めないことをからかったり侮辱する、など。

### ⑤ 酔ったうえでの迷惑行為

酔ってからむこと、悪ふざけ、暴言・暴力、セクハラ、その他のひんしゆく行為。

## 4. 薬物乱用の禁止

昨今「危険ドラッグ」の乱用は大きな社会問題となっています。好奇心や誘惑から、薬物（ドラッグ）を買わない、使わない、かかわらないという強い意思を持ってください。

## 大学構内における駐車について

例年雪深い旭川ですが、今年は平年より積雪が多く、根雪のスタートが早い年となりました。

さて、雪が降ると毎年話題に挙がるのが、駐車場問題です。

大学駐車場の区域線が雪に隠れてしまい、線に従って駐車することが難しくなっています。

許可車両にて通学している学生は、車両間隔を詰めて駐車するよう協力願います。

また、大学から何度も注意喚起を行っているにもかかわらず、駐車禁止場所への駐車や、路上駐車が後を絶ちません。

すべてが学生の所持している車両とは言えませんが、確実に学生が運転している車両も多くあり、そのほとんどが不許可車両であるのが現状です。

そもそも、本学は公共交通機関を用いての通学を基本とし、自家用車での通学は、一定の要件を満たし、かつ、駐車場管理委員会により許可された車両しか本学駐車場を利用できないルールがあります。

また、大学中央玄関前などの駐車禁止区域は理由があって駐車禁止にしていますし、本学構内は緊急車両が走行する可能性が高いので、路上駐車は迷惑極まりない行為です。

過去には、不適切な駐車場利用等により、嚴重注意を行った事例もあります。

平日夜間や土日祝日専用のパスカードは、平日日中のパスカードより安価で購入でき、通学距離等の許可要件もありませんので、そういった制度を有効に活用願います。

なお、パスカードの購入を希望される方は、学生支援課学生総務係に一度ご相談ください。

## 教 員 の 異 動

平成30年1月1日	昇任	病院麻酔科蘇生科	准教授	笹川 智 貴
平成30年1月11日	昇任	医学部歯科口腔外科学講座	教 授	竹川 政 範
平成30年1月11日	昇任	医学部眼科学講座	講 師	石羽澤 明 弘

## 今後のスケジュール

- 2月16日(金) 医学科第4学年 白衣式
- 2月10日(土)～11日(日) 医師国家試験
- 2月15日(木) 助産師国家試験
- 2月16日(金) 保健師国家試験
- 2月18日(日) 看護師国家試験
- 3月19日(月) 医師国家試験合格発表
- 3月23日(金) 学位記授与式
- 3月26日(月) 保健師・助産師・看護師国家試験合格発表
- 4月 6日(金) 入学式

## 第169号表紙

今月号の表紙の写真は、医学科第4学年 今石和紀さんから提供いただきました。美瑛町の人気観光地として有名な「青い池」。冬ならではの幻想的な世界に魅了される1枚です。

学生支援課では、皆さんからの写真を募集しています。課外活動での様子、旅先での1枚など気軽に応募してください。ご提供いただける方は、学生支援課学生総務係までご連絡ください。